

安全就業ニュース

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会



安全リレー

福井県における安全・適正就業の取り組み

1 福井県シルバー人材センター連合の概要（平成28年度実績）

- ・ センター数 15 拠点（国庫補助対象）
- ・ 会員数 8,513 人
- ・ 粗入会率 3.1%
- ・ 受注件数 45,963 件（請負・委任 45,811 件、派遣 152 件）
- ・ 契約金額 4,118,813 千円
（請負・委任 3,892,396 千円、派遣 226,417 千円）
- ・ 就業延人員 955,012 人（請負・委任 906,461 人、派遣 48,551 人）
- ・ 就業率 請負・委任 89.2% 派遣 10.8%

（平成29年3月31日現在）

2 過去5年間の傷害事故発生状況

年度	傷害事故（件数）			賠償事故件数
	就業中	就業途上	合計	
25	45(0)	7(0)	52(0)	29(8)
26	40(0)	6(1)	46(1)	34(15)
27	32(1)	7(0)	39(1)	24(11)
28	32(0)	9(0)	41(0)	36(21)
29	29(0)	13(0)	42(0)	32(24)
平均	35.6(0.2)	8.4(0.2)	44(0.4)	31.0(15.8)

（注）・傷害事故件数中、（ ）内は死亡事故件数、

就業中の死亡事故は落下事故、就業途上の死亡事故は交通事故

・賠償事故中、（ ）内は刈払機による飛石事故

本県の傷害事故発生状況は平成 24 年に 37 件と連合始まってから初めて 40 件を下回り最少を記録いたしました。翌年の平成 25 年には 52 件と大幅な増加となりましたので、対策としてペナルティー制度を導入しました。その後は 40 件前後の状況となっている。

蜂さされや、転落事故が減少すると転倒事故が増加するといった状況でトータルで減少する状況には至っておりません。賠償事故については、最近特に刈払機による飛石事故が多発している。

3 福井県連合における安全・適正就業の取り組み

- (1) 安全・適正就業委員会の開催（年 3 回）
- (2) 安全・適性就業促進大会の開催（7 月 112 名参加）



- (3) 安全スローガンの表彰

《知力 体力 過信せず 一つひとつを丁寧に》

- (4) 安全就業委員会委員によるパトロールの実施（7 月）





- (5) 会員向け刈払機の取り扱い講習会の実施
- (6) 各センターに講習会講師の派遣（安全・適正就業）
- (7) 請負就業（剪定、草刈）現場に看板掲載の推進



4 今後の安全就業について

1. 会員の高齢化による対応能力の低下や新規会員の機械取扱いの不慣れによる賠償事故を無くす為、随時講習会を開催する。
2. 外作業の現場は、整理整頓とシルバー会員が就業している旨の看板の掲載を推進する。広告宣伝、会員の意識高揚、通行者に対する作業告知。
3. 冬期間の就業途上の転倒防止対策の強化

福井県シルバー人材センター連合様からの報告でした。詳細にわたるご報告、誠にありがとうございました。
5月号の安全リレーは、宮城県シルバー人材センター連合会様からの報告を予定しています。

平成 29 年度 3 月 事故速報

重 篤 事 故

3月は、7件の重篤事故報告があった。就業中・就業途上別にみると、就業中の事故が4件、就業途上の事故が3件発生した。累計で比較してみると、平成28年度の28件に比して、平成29年度は46件と18件の大幅に増加しており、ここ数年度の間では重篤事故が非常に多い年度となった。

就業中・就業途上別にみると、就業中では平成28年度の21件に比して32件と11件の大幅な増加となっており、また就業途上においても、平成28年度の7件に比して14件と倍増する結果となった。

**新年度を迎え、事故撲滅に向けて、
気を引き締め安全対策に取り組んで参りましょう！**

3月報告分までの累計

平成 29 年度 3 月 累 計	就業中・ 就業途上	件数	内 訳				平成28年度同月累計					
			事故の程度		性別		計	事故の程度		性別		
			死亡	入院	男性	女性		死亡	入院	男性	女性	
就業中	32 (4)	22 (4)	10 (1)	32 (4)	0 (0)	就業中	21	15	6	16	5	
就業途上	14 (3)	11 (3)	3 (0)	10 (2)	4 (1)	就業途上	7	4	3	3	4	
計	46 (7)	33 (7)	13 (0)	42 (6)	4 (1)	計	28	19	9	19	9	

↳ 対前年度比 164.2%
※ () 内は3月報告分

3月報告分内容

No.	性別等	仕事内容等	事故の状況	安全 帽	安全 帯	交通 手段
40	女 70 歳	就業途上 (死亡)	市役所内での清掃作業を終え迎えにきた夫の車の所に歩いていった途中の交差点の横断歩道上で後方から来た軽トラックに跳ね飛ばされ、救急車で病院に搬送されたが、後日死亡した。	—	—	徒歩
41	男 74 歳	就業中 (死亡)	市の清掃センターでダンプトラックの荷台に上がり清掃センターの職員が行なう作業の補助作業をしていたが、「あおり」が外れ地面に落ちて頭を打った。その後、本人は帰宅したが、家族が異変に気づき救急車で病院に搬送されたが、後日死亡した。	×	—	—
42	男 79 歳	就業中 (死亡)	草取り作業の途中で車を移動させようとしたところ、車が急発進して道路のガードレールを突き破り、約15m下のJR線路に転落。走行中の電車に衝突し、死亡した。	—	—	—

43	男 65 歳	就業途上 (死亡)	就業先に自家用車で向かう途中、対向車線にはみ出し電柱に激突して2時間後に死亡した。(運転ミスの要因は不明)	—	—	自動車
44	男 80 歳	就業途上 (死亡)	信号の無い十字路の交差点を自転車で走行していたところ、反対方向から来た時速40kmの車に激突された。その衝撃で5m程飛ばされ骨折し、救急車で病院に搬送されたが、後日死亡した。	—	—	自転車
45	男 78 歳	就業中 (死亡)	選挙ポスター掲示板設置作業をトラックの荷台に乗り行っていたが、地面に落ちて頭を打った。救急車で病院に搬送されたが、後日死亡した。	×	—	—
46	男 68 歳	就業中 (死亡)	伐採作業中、梯子を使用して作業をしていたところバランスを崩し、頭部から転落したと思われる。同日から意識不明で市内の病院に入院していたが、後日死亡した。	×	×	—

1ヶ月～6ヶ月未満の入院及び後遺障害の事故

3月は、就業中の事故25件、就業途上の事故9件と、合計34件であり、平成28年度同月の34件と同じ件数となった。男女別では、男性は4件の減少となっており、反対に女性は4件の増加となった。

合計の累計を見ると、平成28年度の284件に比して、平成29年度は316件と32件の増加となった。就業中・就業途上別では、就業中は41件の増加となり、就業途上は9件の減少となった。男女別では、男性は25件の増加となっており、女性が7件の増加となった。

平成29年度3月分

	仕事の内容	事故数(件)		男性(件)		女性(件)		平均年齢(歳)	
		3月	累計	3月	累計	3月	累計	3月	累計
就業中	植木・樹木の剪定等	9(9)	100(78)	9(9)	98(78)	0(0)	2(0)	75	73
	除草作業	1(3)	37(29)	1(3)	29(25)	0(0)	8(4)	70	70
	屋内・屋外清掃作業	7(8)	39(37)	1(5)	9(16)	6(3)	30(21)	74	76
	その他	8(4)	58(49)	8(3)	47(38)	0(1)	11(11)	78	76
	計	25(24)	234(193)	19(20)	183(157)	6(4)	51(36)	75	74
就業途上	徒歩	3(4)	24(15)	1(1)	9(3)	2(3)	15(12)	75	76
	自転車	1(4)	31(45)	0(2)	15(18)	1(2)	16(27)	74	73
	バイク	0(1)	20(23)	0(1)	9(12)	0(0)	11(11)	—	69
	自動車	5(1)	7(8)	1(1)	1(2)	4(0)	6(6)	74	85
	計	9(10)	82(91)	2(5)	34(35)	7(5)	48(56)	75	75
合計		34(34)	316(284)	21(25)	217(192)	13(9)	99(92)	74	74

()は平成28年度同月、累計では同月までの発生件数

編集後記

今年は例年になく早い開花となり東京ではすっかり葉桜ですが、北海道や北東北ではこれからお花見という所も多いことと思います。昨年度、減少傾向にあった重篤事故が一気に過去最多となってしまいました。事故の多くは屋外作業で発生し、安全帽さえ被ってあれば…というケースも多発しました。昨年も申し上げましたが、シルバー事業において最も重要なことは、安全な就業環境の中で会員のみなさまが明るく楽しく、安心して働けることです。事故は一瞬の気の緩みから起こります。せっかくの楽しい就業の場を、最も大切な命を事故により失うことがないように会員のみなさま一人ひとりが日々気をつけて、長く生きがいをもって、働き続けることができますよう、このニュースが一助になれば幸いです。今年度もどうぞよろしく願いいたします。
(松山)

4月から安全就業担当となりました笹野です。安全対策についていろいろと勉強していくことにより、防げる手立てを講じて事故を1件でも少なくしていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。
(笹野)

今月、全シ協において事故報告に係る報告方法の改正について検討いたしました。事故報告書に係る新しい報告方法について平成30年4月24日付 事務局長通達により通知いたしましたので、よろしくお願い致します。

事故防止、急ぐな、あせるな、気を抜くな

<頒布物のご案内> 新規会員さんへの研修に活用ください!

全シ協では、シルバー人材センター事業を円滑に運営・推進していただく一助として、手引書、冊子などの頒布物を発行しています。

事故に学ぶ交通安全のポイント「改訂版」

交通事故の死亡者は年々減少傾向にある中、65歳以上の高齢者が占める割合は年々高くなっています。シルバー人材センター会員の皆様においても就業途上において歩行中・自転車乗車中の事故が多く発生しています。このため、事故に注意していただき、安全な就業をしていただくため改訂版を発行しました。是非、会員の皆様に対する研修会・講習会等のテキストとして活用ください。



頒布価格 216円 A4判
(税込・送料実費)

【改訂の内容】

- 1 現行のB5版/16頁からA4版/20頁とし、見やすく、分かりやすく、内容の充実を図りました。
- 2 警察庁交通局の「平成27年中の交通事故の発生状況」から、特に、高齢者の事故が多い内容や原因について注意喚起を行う事項を追加しました。
- 3 シルバー人材センターで発生した「就業途上に起きた交通事故」の状況や事故件数及びこれに伴う再発防止のポイントを「イラスト、事例」により掲載しました。
また、ヒヤリ・ハットの事例についても、「イラスト、事例」により掲載しています。
- 4 自転車の危険運転について、道路交通法の改正が行われ、この改正内容等について、「イラスト」等により解説を行い、追加しました。

【お問い合わせ先 全シ協企画情報課 TEL 03-5665-8013】